

全世界のデザイナーが集結する Premiere Vision 展が 2 月 12 日から 3 日間、パリ北部の Parc des Exposition でスタートしました。マテリアルや付属品など～洋服になっていく過程での素材総合展は、とかくこの展示会だけのトレンドだとか新製品に目が奪われ表面だけを見がちになりますが、実は直前に開催されるニューヨークコレクションも意識されておくべきだということの特筆したいと思います。つまり、展示会はピンで見ないで、前後する展示会や全体で総合的にみるべきだと思います。

NY コレクションは 2019/2020 の秋冬コレクションですが、この Premiere Vision はその 6 か月後の 2020 春夏コレクション用の素材展であること、お断りしておきます。対象シーズンの違いは、先シーズンのコレクションの為に素材展であることを前もってご理解していただきたいと思えます。それで申し上げたいのは、NY コレクションで注目を浴びるデザイナーや直前のコレクションの方向性によって、この素材展での注目ポイントが微妙に変化して、いろいろなことなのです。



例を挙げますと、「トム フォード」が 2 月 6 日夜、ニューヨークで 2019-20 年秋冬コレクションを発表しました。前シーズンのタイトスカートやランジェリー風トップスの優しいカレーパレットはそのままにして、今季はパンツルックを連打しました。

「コレクションを作る時は、前シーズンを振り返るところから始まる。前はフェミニンなドレスやスカート、今回はパンツの気分だった」とトムは話していました。ファーストルックは淡いブルーのシルクシャツにパープルのサテンパンツ、ライラックカラーのファーのフェドラ帽子を合わせたコンビネーション。マニッシュでありながら、素材や色で柔らかさを足したスタイルです。その後も淡いピンクやパープル、グレーなどの甘さのあるパステルカラーをのせたシフォンやシルクが多出。「現代は生きる上で、疲れたり、緊張したり、不安になったり、ネガティブな感情を抱く機会も多い。だからこそ洋服にはジェントルでもリラックスできるものを求めた。過去には力強く派手なものも手掛けてきたし、そういったスタイルは今でも好きだが、今シーズンはリラックスしたい気分。ラグジュアリーであるため、シンプルかつソフトでもテーラリングはシャープに仕上げた」とコメント。後半にはレッド x レッドや、得意のブラックのルックが登場。「カギを握るのは素材選びとシルエット。リッチなベルベットやサテンは、色で失敗することが少なく、ラグジュアリーに仕上がるから僕にとっては鉄板だ。誰かをハグするならベルベットやカシミア、サテンなど、上質な素材の方が良いだろう。物が溢れる世の中でだからこそ、触り心地と着心地は重要だ。黒い服は、シルエットに目が行くから好き。真のラグジュアリーは、色よりシルエットだと思う」とも語っています。

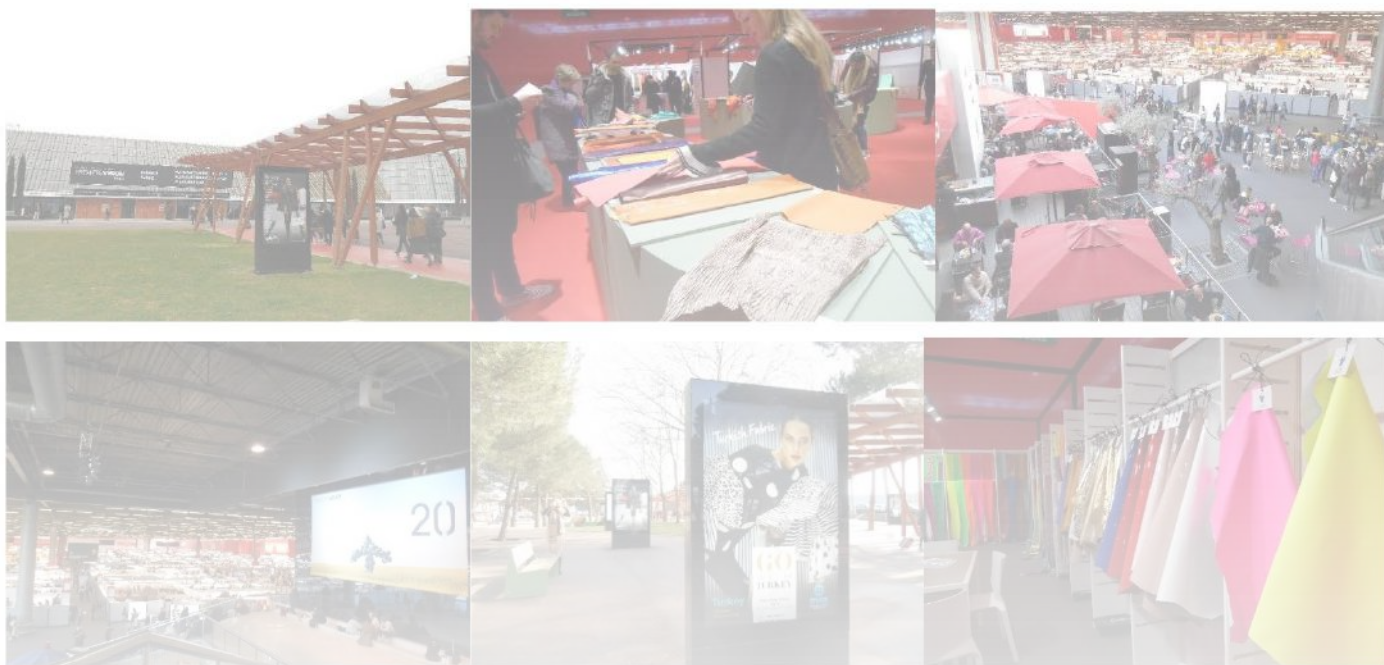
また、帽子やコートにはリアルとエコ双方のファーを用いました。「ファーフリー宣言できないのは、エコファーも問題が山積みだから。動物愛護という観点からは良い選択かもしれないが、石油から作られるため生分解するのに何年もかかる。一方リアルなファーをすぐに捨てる人は少なく、使わなくなったものは売ったり、世代で受け継いだりするもの。捨てたとしても分解されやすい」とファーについての持論を語りました。「トム フォード」はリラックスを求めて柔らかな色調のマニッシュを提案しました。

ここで気になる Keyword をいくつか挙げてみます。「パンツの気分」「マニッシュながらも素材や色で柔らかさを表現」「リラックスしたい気分」「上質な素材」「色よりシルエット」「リアルファーもあり」などです。



先月、伊 Firenzeno での PITTILINO 展をレポートさせて頂いた時も「頑張ってお洒落する時代」は終わり、「自分が快適に感じ、便利に流行を楽しむ時代」に突入したのでは」と記載させて頂きました。2月初旬に開催されました独ミュンヘンの ISPO 展におきましては、スポーツの機能性開発が進んでおり「TECHNO LAB」というキーワードが中心に流れていました。また、2月11日から開催された Fairyland World Textile 展は「ISPO」というキーワードが中心の根底に流れていました。

このような複数の展示会から分析しますと、「快適に過ごすため、人ややさしく心地よい洋服が求められている流れ」と総括できると思います。そんな視点を持って Premiere Vision 展に参観し、秋冬コレクションの次に来る 2020 春夏の素材の方向性は「リラックスな気分を醸し出すために、優しく人を表現しそれでいてこだわりのあるマテリアル」を探するという考えが designer の皆さまの「深意」にあったように思います。



フランスのパリで年に 2 回開催される世界最大級のテキスタイル・ファッション素材見本市「ブルミエール・ビジョン」は、ファブリックを中心にテキスタイル、服飾資材、レザー、図案、縫製、糸の 6 部門で構成され、このブルミエール・ビジョンで提案されるカラーや素材といったトレンドは業界全体に大きな影響を与えるほどの重要なイベントとなっています。